

第44回 入学式 校長式辞

陽春の輝きが増し、桜の花が満開に咲く季節となりました。

この良き日に、埼玉県議会議員 中川 浩 様、PTA会長 大坂 美佳 様のご臨席のもと、令和7年度第44回入学式を挙げていただけますことは、私たち教職員、在校生にとって、この上ない喜びであります。

ただいま、本校への入学を許可しました194名の新入生の皆さん、保護者の皆様、御入学、誠にありがとうございます。本校は「たかく ゆたかに たくましく」を校訓とし、今年で44年目を迎えました。卒業生は1万1千人を超え、様々な方面で活躍をしています。

さて、新入生の皆さんは、今日から狭山清陵高校の生徒としての生活が始まります。そこで、高校での3年間で、生涯の宝として大切なものとなるよう、新入生の皆さんに心がけてほしいことを3つお話しします。

1つ目は、授業を大切にしてほしいということです。中学校まではたとえオール1であったとしても進級や卒業ができたと思いますが、高校は違うという現実があります。高校は授業が第一です。手を抜いてよいという教科・科目はありません。私はこの4月1日の職員会議の中で、先生たちには、生徒にとって「分かる」「楽しい」を実感できる授業をしてほしいとお願いしました。日々の授業で学ぶことによって、これからの社会、時代の変化に対応するためです。IT化により、単なる知識は、パソコン一つ、スマホ一つで、すぐ答えが見つかります。一方で、今の社会はグローバル化や多様化に加え、環境問題、少子高齢化などの様々な課題が複雑に絡み合っています。世界も時代も変わる中で、自ら学ぶ姿勢を持ち、課題を見つけ、解決に取り組める人材こそ必要といわれています。企業や専門学校、大学もこうした人材をこれからは求めています。

第一希望の進路実現のため、そして、これからの社会をたくましく生き抜いていくため、まずは授業をしっかりと真剣に受けてください。

2つ目は、心と体を鍛えてほしいということです。皆さんご存じのとおり狭山清陵高校には、14の運動部と10の文化部があります。また、遠足、芸術鑑賞会、文化祭、体育祭、ロードレース大会、修学旅行など学校行事がたくさんあります。また、本校の校舎の1階には狭山特別支援学校分教室があり、特別支援学校生徒との交流行事もあります。高校生活は何といっても勉強、授業が第一ではありますが、このような部活動、学校行事にも積極的に参加し、楽しく、学び合い、高め合い、励まし合いながら心と体を鍛えてください。

しかし、高校時代は誰でも、悩んだり、苦しんだりすることが多くあるものです。でも、それは正常なことです。高校という青春時代にどれだけ悩んだか、つまづいたか、その多さこそが、自分自身を成長させ、高校を卒業し、やがて社会に出たときに大いに役に立つものであります。高校生活の中で、勉強のことで悩むこと、進路のことで悩むこと、また、人間関係で悩むことがあるかもしれません。こんな時、先生や家族、友人など他の人に相談してください。他の人の力を借りること、これは決して恥ずかしいことではありません。周りに助をもとめることも大切な力です。困ったときには遠慮なく周りに相談してください。

約20年前に大ヒットした「世界に一つだけの花」、その歌の中に、

もともと特別な Only one という歌詞があります。

ここにいる新入生全員が、もともと特別なオンリーワンであります。周りを気にすることなく、皆さん自身の中で、自分自身を高める努力をしてください。新入生の皆さん一人一人の挑戦を期待しています。

3つめは、思い遣りと品格ある狭山清陵高校の生徒でいてほしいということです。品格があるとは、「時を守り、場を清め、礼を正す」ことが自然とできることであると考えます。遅刻をしない、清掃をしっかりとする、気持ちの良い挨拶をすることは、社会生活の基礎基本であります。学校のルールを守り、勉強だけでなく部活動、学校行事にも全力で取り組む良き伝統と校風を受け継ぎ、これからも品格ある狭山清陵高校の生徒として、豊かな心を育み、礼儀と他人を思いやる心もち続けてください

次に、保護者の皆様にはお願いです。ある研究では、学力や人間性を育てる近道は家庭に笑顔があることと言われています。また、高校教育は、学校と保護者の連携・協力があって初めて成果が期待できるものであります。私たち教職員は、お子様が充実した高校生活を過ごし、資質・能力を大きく成長できるように全力で指導いたします。そして、3年後には「この学校に入学して良かった」と実感できるように支援してまいりますので、本校の教育方針を十分にご理解いただき、ご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本日、御列席の御来賓の皆様の御健勝と新入生の皆さんが一日も早く本校に慣れ、充実した学校生活を送ることができるよう祈念し、式辞といたします。

令和7年4月8日

埼玉県立狭山清陵高等学校長 小久保 守